

第 32 回全国選抜高校テニス大会

実施要項

- 主催 日本テニス協会、全国高等学校体育連盟、読売新聞社
主管 全国選抜高校テニス大会実行委員会
後援 文部科学省、福岡県、福岡県教育委員会、福岡市、福岡市教育委員会、九州テニス協会、報知新聞社、NHK
特別協賛 アメアスポーツジャパン
運営 全国高等学校体育連盟テニス部、福岡県高等学校体育連盟テニス部、福岡県テニス協会
期日 2010(平成 22)年 3 月 21 日(日)～27 日(土) 7 日間
◇団体戦:3 月 22 日(月)～26 日(金)
◇個人戦:3 月 24 日(水)～27 日(土)
◇開会式:3 月 21 日(日) 午後 3 時 博多の森テニス競技場センターコート
◇閉会式:3 月 26 日(金) 団体決勝戦終了後 博多の森テニス競技場センターコート(団体戦表彰式)
3 月 27 日(土) 個人決勝戦終了後 九州国際テニスクラブ(個人戦表彰式)
- 会場 ◇団体戦:博多の森テニス競技場 「サンドフィル」(福岡市博多区東平尾公園 1-1-1)
◇個人戦:九州国際テニスクラブ 「ハードコート」(粕屋郡志免町御手洗 7)
- 競技規定 国際テニス連盟規則に準ずる。
競技方法 ①男女とも 7 人から 9 人の登録で複 2、単 3 の対抗戦で行う。トーナメント方式。
※出場選手は単複を兼ねられない。
②団体戦男女とも 1、2 回戦は 1 セットマッチとし、3 回戦以降は 3 セットマッチとする。
個人戦男女とも 1～5 回戦は 8 ゲームマッチとし、準決勝以降は 3 セットマッチとする。
(8 ゲームマッチは 8 ゲームオール後タイブレークとし、3 セットマッチは、6 ゲームオール後タイブレークとする)
※天候等により試合方法を変更することもある。
③試合はシングルス No.1、ダブルス No.1、シングルス No.2、ダブルス No.2、シングルス No.3 の順に行う。
※決勝戦については、対戦順番を変更する場合もある。
- 参加資格 ①各都道府県高等学校体育連盟に加盟する高等学校で、本大会の各地区大会で選出、各都道府県高等学校体育連盟テニス部より推薦され、学校長が出場を認めた者。(選手は、学校教育法第 1 条に規定する高等学校に在籍する生徒であること、それ以外の生徒については、別途定める規程に従い大会の参加を認める。)
②参加校の生徒は 1、2 年生で、平成 3 年 4 月 2 日以降に生まれた者。ただし、同一学年での出場は 1 回限りとする。(中国帰国子女についてはこの限りにあらず。)
③大会前 6 ヶ月以内に転校した者は、原則として参加を認めない。
④参加する生徒は、あらかじめ健康診断を受けること。
⑤選手は各都道府県大会・地区大会に参加しなければならない。また、「全米オープンジュニア」、「日・中・韓ジュニア交流会」への出場権を得た選手は、当該大会及び以後の高等学校体育連盟が主催する大会に参加しなければならない。
- 参加制限 男女各 48 校
参加申込 ①参加希望校は所定の申込用紙 2 部を作成し、各都道府県高等学校体育連盟テニス部専門委員長へ 1 月 6 日(水)までに提出のこと。
②各専門委員長は申込書を確認の上、1 月 12 日(火)までに各地域常任委員へ提出のこと。
※申込用紙の学校長印、専門委員長印には必ず公印を使用のこと。それ以外は受け付けない。
③各常任委員は 1 月 15 日(金)までに下記へ 1 部ずつ提出のこと。
◇全国高等学校体育連盟テニス部事務局
〒252-0803 藤沢市今田 744 神奈川県立藤沢工科高等学校気付
全国高等学校体育連盟テニス部 大森 徹 (TEL/0466-43-3402、FAX/0466-43-4942)
◇全国選抜高校テニス大会実行委員会事務局
〒810-8581 福岡市中央区赤坂 1-16-5 読売新聞西部本社事業本部内
全国選抜高校テニス大会実行委員会事務局 (TEL/092-715-6071、FAX/092-715-6079)
④申し込み後の変更は一切認めない。ただし、諸般の事情により、出場登録を抹消する場合は、大会実行委員会事務局に事前に届出を行うこと。

- 使用球 ウイルソン(男子「US OPEN エクストラ・デューティー」、女子「US OPEN レギュラー・デューティー」)
- 参加料 23,000 円
- ◇口座名：全国選抜高校テニス大会実行委員会 会長 古賀通生
- ◇口座番号：西日本シティ銀行 長住支店 (普)0636919
- ※2月5日(金)の選考委員会で出場決定後、指定の口座に3月1日(月)までに振り込むこと。
- 引率責任者 参加生徒は引率責任者(当該校専任教員)が引率すること。引率責任者は参加生徒の全ての行動について責任を負う。なお、全米オープンジュニア出場選考会に出場する選手の学校は、必ず引率責任者として学校関係者が付き添うこと。
- 監督 学校長が認めた教職員とする。また、同一校で男女団体戦に出場する場合は監督を別々に置く。
- 疾病・傷害 競技中の傷害などについては主催者で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。
- 表彰 男女優勝校に全国高等学校体育連盟の賞状、日本テニス協会の優勝旗及び賞状、文部科学大臣杯と賞状、古賀杯、福岡市長杯、NHK杯、読売新聞社の賞状及び優勝旗、メダル、2・3位校に賞状、トロフィー、メダルを授与する。
- 諸会議
- | | | |
|-----------|------------------|-------------------------|
| ①選考委員会 | 2月5日(金)午後1時 | 読売新聞西部本社会議室 |
| ②全国委員会 | 3月21日(日)午前10時30分 | 博多の森テニス競技場センターコート1階大会議室 |
| ③監督連絡会 | 3月21日(日)午後1時 | 博多の森テニス競技場センターコート1階大会議室 |
| ④組み合わせ抽選会 | 3月21日(日)開会式終了後 | 博多の森テニス競技場センターコート |
- 海外遠征 大会期間中に男女2回戦に進出した学校の登録No.1の選手を対象に、「全米オープンジュニア」、「日・中・韓ジュニア交流会」への出場権を賭けたシングルストーナメント選考会を行う。
- 注意事項
- ①オーダーは全国高校ランキングのシングルス8位、ダブルス4位(同一ペア)以内のペアは必ず上位に置く。また、ダブルスの順位は両者のシングルス登録順位の合計値が小さい方を上位とし、合計値が同数の場合は、登録順位最上位者の属するペアを上位とする。
 - ②1、2ラウンドは原則として全ポイント行う。(3ラウンド以降は、ポイント決定後打ち切りとする)
 - ③特別の事情により試合が消化できない場合は、試合方法・会場等を変更する場合がある。
 - ④ベンチコーチは1人のみ認めるが、監督または登録選手に限る。スコアの表示はゲーム終了ごとに選手が行うものとする。ただし、スコア係をつけても構わない。ボールパーソンは1コートにつき1校1人を認める。
 - ⑤ウォームアップは3分以内とし、ただちに試合のできる服装で行うこと。
 - ⑥体力消耗、けいれんなどによる中断は許されない。(事故による中断はレフェリーの判断による)
 - ⑦試合中のトレーナー治療は行えない。
 - ⑧いかなる理由によっても選手はコートを離れないことを原則とする。
 - ⑨「セットブレイク・ルール」は適用しない。
 - ⑩ユニホームへの学校名の掲示を義務づける。
 - ⑪決勝戦終了後、閉会式を行う。3位までに入賞した学校・個人は大会最終日に表彰式を行うので、必ず参加すること。
- その他
- ①主催者において団体保険(傷害保険)に加入する。
 - ②宿舎は大会事務局の指定業者を通じて予約をすること。
 - ③出場校は大会HPとパンフレット用の写真を撮影しておくこと。HP用は出場登録選手と監督の合わせて最大10人以内とし、パンフレット用は形式を問わない。出場決定後、大会事務局に送付すること。
※詳細については選考委員会終了後、各校監督宛に送る資料で確認すること。
 - ④主催者及び主催者が許可した団体、企業が写真や動画などを撮影する場合がある。これについては、2005年4月18日に全国高等学校体育連盟から、各専門部に通達された「個人情報保護法及び肖像権に関する取り扱いについて」という通知に則る。